MARIONET STAR

プリセット卓

操作説明書

丸茂電機株式会社

6.1-000199

目次

第 1 章　概要・仕様

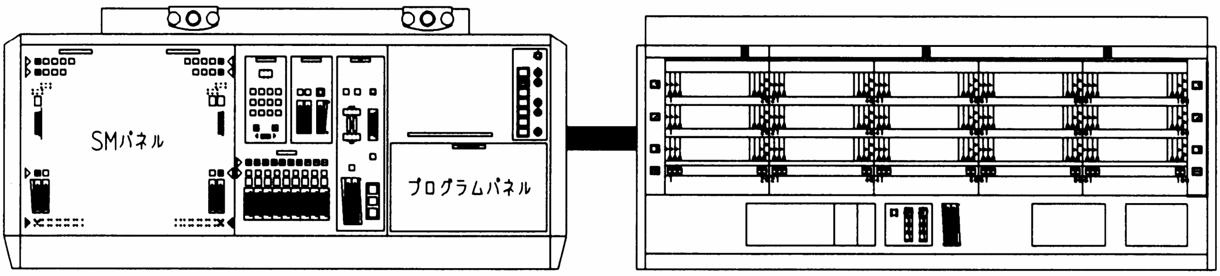
１－１.概要

プリセット卓は、 MARIONET STAR ではテンキー等の操作で入力している「レベル仕込」「レベル修正」を手動プリセットフェーダ操作で行うためのオプション卓です。

※本取扱説明書では、M ARIONET STAR を「主操作卓」または「主卓」と呼びます。プリセット卓は、3 段モード、 1 段モードを切り替えて使用することができます。3 段モードでは、 3 段プリセット卓としてレベルを仕込み、クロスフェーダで再生することができます。
1 段モードでは、各フェーダをチャンネルフェーダとして、プリセット卓からのライブ出力ができます。
さらに 1 段モードでは、プリセット卓の接続により主操作卓面上のサブマスター(SM) フェーダへプリセットフェーダレベルをセットし、各サブマスターフェーダを段マスターフェーダとする多段プリセットの機能が追加できます。また、３段モードでの使用時には、プリセット卓面上の段選択スイッチ、クロスフェーダ等で実行されるレベルと主操作卓実行レベルとのハイレベル優先で調光回路を同時コントロールすることができます。なお、プリセットフェーダの本数は、下記のようになります。

40 本× 3 段プリセット卓・・・ 1 段モードでは 120 本
60 本× 3 段プリセット卓 ・・・1 段モードでは 180 本

本説明書においては１００ 本× 3 段のプリセット卓を例に説明します。



１－2. 仕様

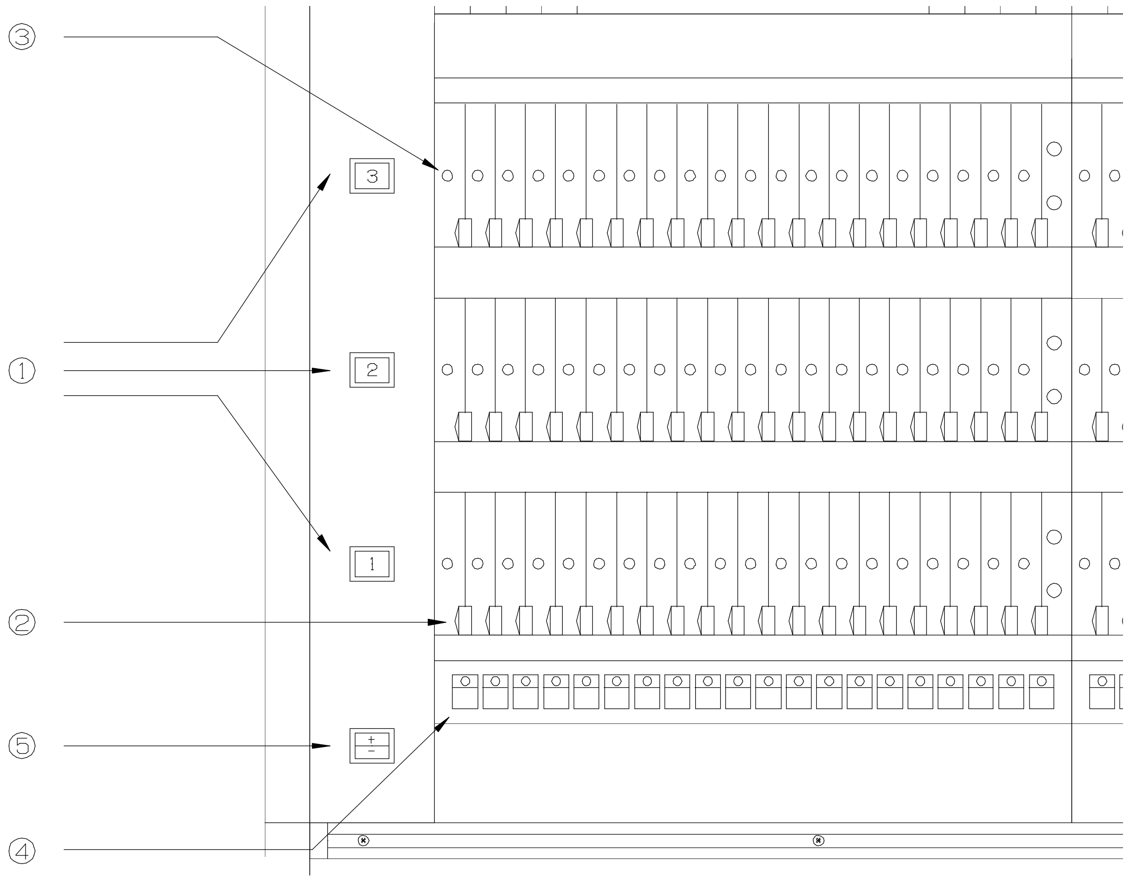
※ 1 フェーダ ch 数、およびフラッシュスイッチの数は仕様により異なります。この取扱説明書では、フェーダ本数が 100 本× 3 段の場合を例としています。

定格電圧	AC100V ± 10%
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	30W 以下
使用温度範囲	5 ℃～ 40 ℃
フェーダ ch 数	仕様による ※ 1
場面数	3(3 段プリセット)
クロスフェーダ	1 セット (A-B)
フラッシュスイッチ	1 セット (数量は仕様による ※ 1)

第 2 章　各部の名称と機能

プリセット卓各部の名称と機能について説明します。
※ここでは、プリセットフェーダ 100 本× 3 段のプリセット卓を例とします。
※スイッチ等の配置は一例です。お手もとの操作卓とは配置が異なることがあります。

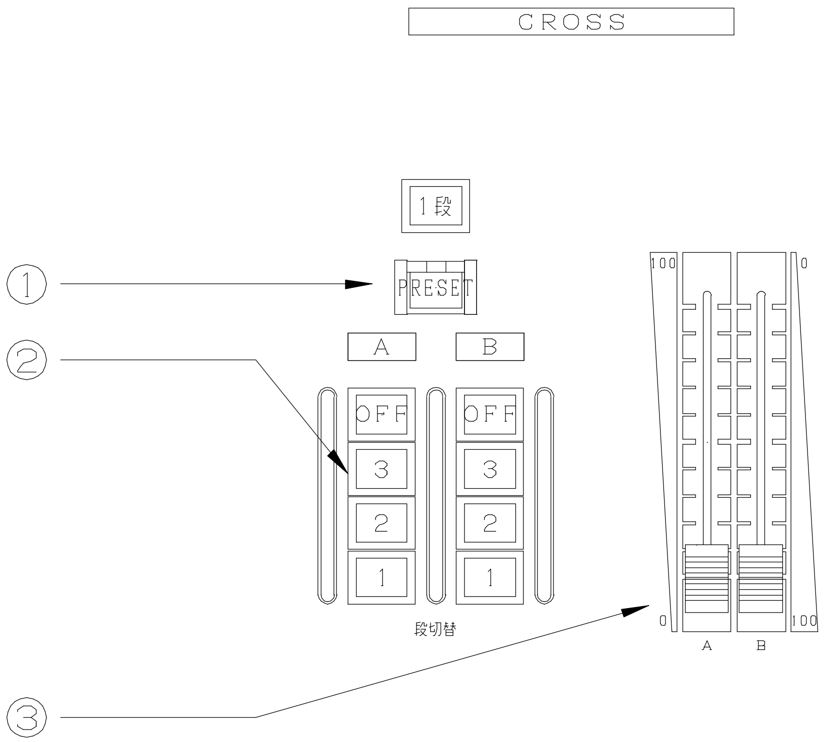
2－1．プリセットフェーダ部



	名称	機能
①	段表示灯	段選択スイッチによって選択されている段と、その出力状態を示します。 緑で点灯・・・段選択スイッチでクロスフェーダ（CF）に接続されていて、 CF のレベルが 0 であることを示します。 赤で点灯・・・段選択スイッチでクロスフェーダ（CF）に接続されていて、 CF から何らかのレベルが出力されている（0% でない ）ことを表示します。
②	プリセットフェーダ	下から 1 段目、 2 段目、 3 段目となります。 1 段モードでは、下側から順にチャンネル No.1 ～ 300 となります。
③	修正一致 LED	※ 1 段モードでのみ有効です。 プリセットフェーダのレベルと、実際のチャンネルの出力 (または記憶レベル ）が一致しているかどうかを示します。 点灯・・・現在のプリセットフェーダレベルが有効であり、 フェーダ操作でレベルが変更可能であることを意味します。 消灯・・・現在のプリセットフェーダレベルは無効である （ 実際の値と一致していない ）ことを意味します。
④	フラッシュスイッチ	※ 3 段モード時に操作が可能となります。 全てのチャンネルに対してフラッシュスイッチが装備されています。 ON するとそのチャンネルのレベルが FF(100%) で出力されます。
⑤	＋／－スイッチ	フラッシュ動作を選択するスイッチです。 【+】・・・・　スイッチＯＮ時に、今出力しているレベルに、フラッシュスイッチを押したチャンネルのレベルを１００%で加算して出力するフラッシュ動作モードです。 【−】・・・・　スイッチ ON 時に、フラッシュスイッチを押したチャンネルのレベルのみを１００%で出力するフラッシュ動作モードです。

２－２.クロスフェーダ部

クロスフェーダ部は３ 段モードでのみ使用します。



	名称	機能
①	プリセットスイッチ	3 段モード使用を可能にするスイッチ
②	段選択スイッチ	A、B のクロスフェーダで、1 段目～ 3 段目のどのプリセットフェーダのレベルをコントロールするかを選択するスイッチです。1 ～ 3、O FF のスイッチがそれぞれにあります。
③	クロスフェーダ(CF)	A 側は上方向に 0 ～ 100%，B 側は下方向に 0 ～ 100% と逆配置されています。A・B クロスフェーダを同時に同じ方向へ操作することにより A 側選択プリセット段レベルから B 側選択プリセット段レベルへ、または B 側選択プリセット段レベルから A 側選択プリセット段レベルへ転換することができます。 ※プリセット卓のクロスフェーダは主操作卓の TC フェーダ（ ムーブフェード機能 ）と異なり、A・ B フェーダを 0%にした場合 プリセット卓出力が 0%となるクロスフェード機能で動作します。

第 3 章 プリセット卓操作の開始と終了

主操作卓での操作から、プリセット卓での操作への切り替えと、プリセット卓の操作の終了のしかたについて説明します。

３－１.プリセット卓の電源の ON/OFF

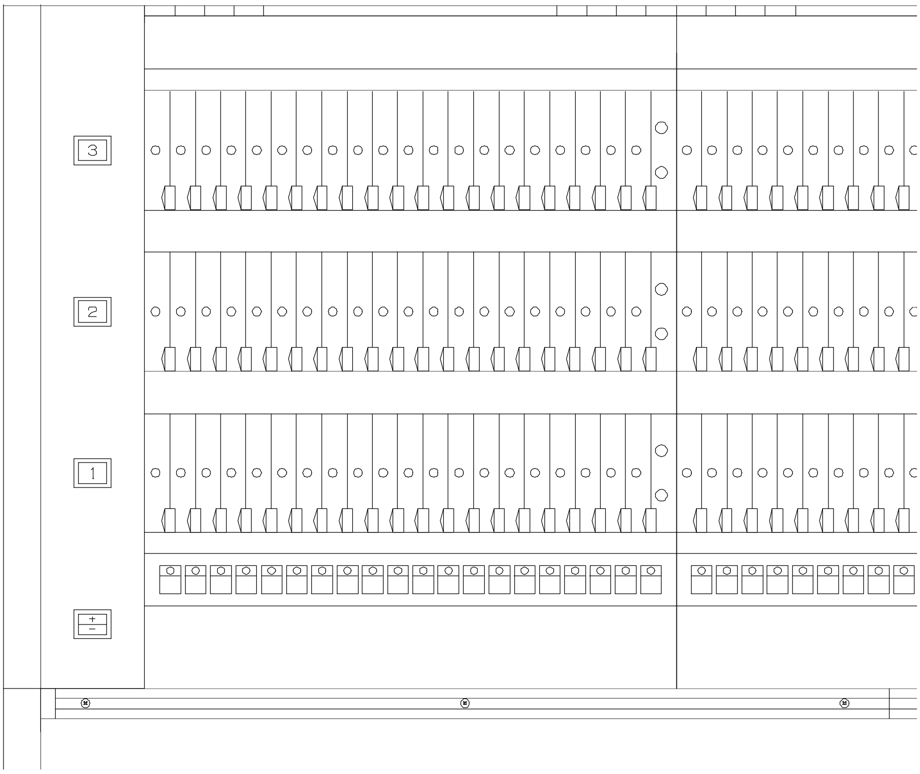
プリセット卓の電源は、主操作卓と連動しているので、主操作卓の電源スイッチの ON/OFF にあわせて動作します。

３－２.１段モードと 3 段モード

プリセット卓は、 3 段モード、 1 段モードのいずれかに切り替えて使用します。

３－２－１.１段モード

1 段モードでは、プリセット卓は 300ch × 1 段のチャンネルフェーダとして機能します。



【操作手順】

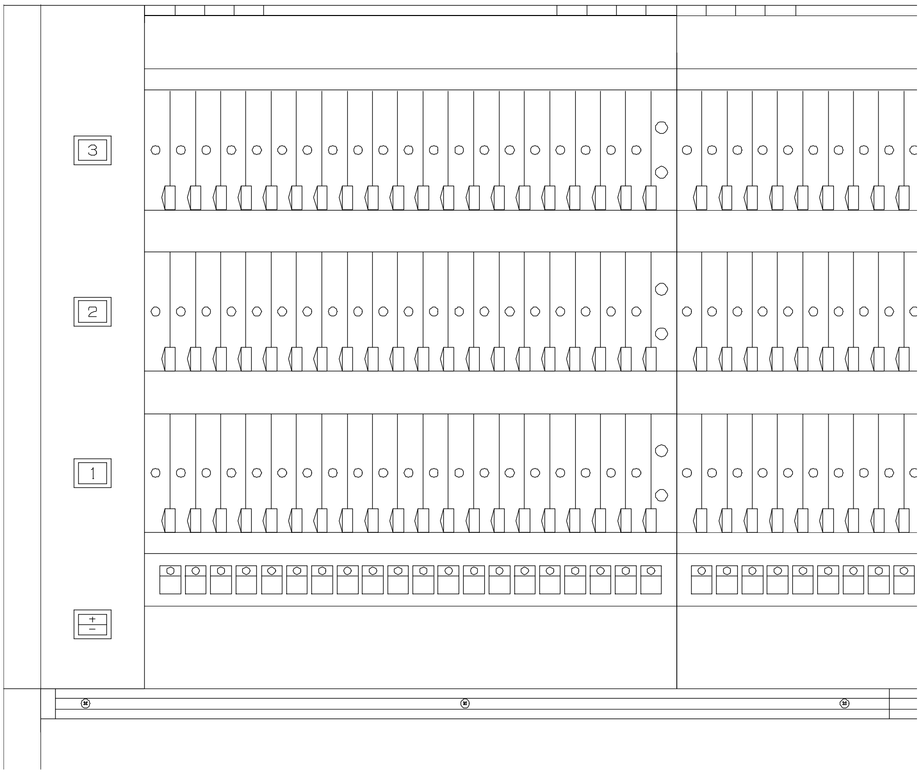
主操作卓のライブモードから、プリセット卓の１段モードに入る

１．主操作卓の [ライブ] キーを押して、ライブモードに入ります。
２．[CH] キーを押します。
３．[P]キーを押します。メッセージラインに ”CH＝プリセット ” と表示さ
　　プリセット卓を使用できる状態になります。
４．全チャンネルのプリセットフェーダ修正一致 LED が点灯し、
　　プリセットフェーダでレベルをセットできる状態になります。

※ブラインドモードでは、 [CUE][P][リターン] のキー操作でも
　1 段モードに入ることが可能です。

３－２－2.３段モード（ プリセット卓モード ）

３段モードでは、プリセット卓を 100ch× 3 段の手動プリセット卓として使用します。
※ [プリセット] スイッチが ON になり、 3 段モードに入った状態で、主操作卓側から 1 段モードに
切り替えることはできません。いったん [プリセット] スイッチを OFF にして、 3 段モードを
終了させてください。



【操作手順】

3 段モードに入る　　1．[プリセット] スイッチを ON にします。スイッチの LED が点灯し、プリセット卓が
3 段モードで使用可能となります。
※ 1 段モードで出力していたレベルは、3 段モードに切り替えてもそのまま残ります。

３－２－３.３段モード・ 1 段モードの切り替え

[プリセット] スイッチが ON になっていて、 3 段モードに入っている状態からは、
主操作卓のライブモード・ブラインドモードから、プリセット卓を 1 段モードで使用することはできません。
いったん [プリセット] スイッチを OFF にして 3 段モードを終了させる必要があります。

３－２－４.１段モードと 3 段モードの出力の関係

【操作手順】

1 段モードから 3 段モードに 切り替える	1 段モードでの操作中に [プリセット] スイッチを ON にすると、そのまま 3 段モードに切り替わります。 ※ 1 段モードから出力されていた明かりはそのまま残ります。

３－３．プリセット卓と主操作卓の出力の関係

プリセット卓からの出力と、主操作卓側からの出力は、ハイレベルの方が優先されます。

３－４．プリセット卓でつくったレベルの記憶

プリセット卓から出力中のレベルは、 1 段モード、 3 段モードとも、 MARIONETSTAR の電源を切ると消え、操作卓内には保持されません。プリセット卓で作成した明かりの状態をデータとして保存する場合は、主操作卓のライブモードまたはブラインドモードでプリセット卓からの出力状態を表示し、キュー No. をつけて保存してください。

【操作手順】

プリセット卓からのライブ出力の状態をキュー No. 100 として保存する	1．主操作卓の ［ ライブ ］ キーを押してください。 2．[TC][リターン] キーを押し、現在の出力状態を画面に表示させます。 3．[ライト] キーを押します。 4．メッセージラインに ”ライト Cue No．＝ ” と表示されるので、テンキーで [1][0][0] と指定します。 5．[リターン] キーを押すと確定し、キューデータに書き込まれます。

３－５．プリセット卓の操作の終了

プリセット卓の操作を終了し、主操作卓での操作に戻る手順については、各モードの操作方法の章で説明します。

第 4 章　１段モードの操作方法

1 段モードでは、各フェーダを 300 チャンネルのチャンネルフェーダとして、レベルの作成及び修正に使用します。

４－１. 実明かりを出力して明かりをつくる

主操作卓のライブモードから、1 段モードのプリセット卓を使用してレベルを作成します。

４－１－１. プリセットフェーダによるレベルセット

プリセット卓を 300 チャンネルのチャンネルフェーダとして使用し、レベルを作成することができます。
※フェーダチャンネルのパッチは、主操作卓のパッチモードで行います。

【操作手順】

プリセットフェーダを使用可能にする	１．主卓の [ライブ] キーを押し、ライブモードに入ります。 ２．[CH] キーを押します。 ３．[P] キーを押します。メッセージラインに "CH= プリセット " と表示され、プリセット卓を使用できる状態になります。 ４．全チャンネルのプリセットフェーダ修正一致 LED が点灯します。プリセットフェーダでレベルをセットしてください。

４－１－２. キューデータの書き込み

明かりを作成したら、主操作卓側でキュー No. をつけて書き込むことができます。

【操作手順】

キュー No.3 に書き込む	１．[ライト] キーを押します。メッセージラインに " ライト CUE No.= " と表示されます。 ２．テンキーで [3] を指定します。 ３．[リターン] キーを押すと確定し、データが書き込まれます。 ※このとき、すでに記憶済のキュー No. を指定するとメッセージラインに ”ライト OK?”のメッセージが表示されます。同じ No. のキューに上書する場合は そのまま [リターン] キーを押してください。別の No.をつける場合は [CAN] キーを押し、改めてキュー No. を指定してください。

４－２. 実明かりを出力せずにデータを作成する

主操作卓のブラインドモードから、 1 段モードのプリセットフェーダを使用して、実明かりを出力せずにレベルデータを作成します。

４－２－１. プリセットフェーダによるレベルセット

プリセットフェーダを使用して、レベルをセットします。実明かりは出力されません。

【操作手順】

プリセットフェーダを使用可能にする	１．主卓の [ブラインド] キーを押し、ブラインドモードに入ります。 ２．[CUE] キーを押します。 ３．[P] キーを押し、続けて [リターン] キーを押します。プリセット卓を使用できる状態になります。 ４．全チャンネルのプリセットフェーダ修正一致 LED が点灯します。 ５．プリセットフェーダでレベルをセットしてください。

４－２－２．キューデータの書き込み

データを作成したら、キュー No. をつけて書き込むことができます。

【操作手順】

キュー NO．３ に書き込む

１．［ライト］キーを押します。メッセージラインに " ライト CUE No.= " と表示されます。
２．テンキーで［3］を指定します。
３．［リターン］キーを押すと確定し、データが書き込まれます。
※このとき、すでに記憶済のキュー No. を指定するとメッセージラインに
”ライト OK? ”のメッセージが表示されます。同じ No. のキューに上書する場合は
そのまま［ リターン ］キーを押してください。
別の No.をつける場合は［CAN］キーを押し、改めてキュー No. を指定してください。
※この後、再びプリセットフェーダでレベルをセットし、続けてキューデータを
作成していくことが可能です。

４－３．キューデータの修正 - 実行中のキューデータの修正

プリセット卓では、各フェーダを 300ch のチャンネルフェーダとして使用し、キューのレベルを修正することができます。この場合、プリセット卓は 1 段モードでの使用になります。

４－３－１．キューを実行する

主操作卓のリードモードでレベル修正を行うキューを呼び出し、実行します。
※既に実行されているキューのレベルを修正する場合には、この操作は行いません。

【操作手順】

キュー No．３を実行段に呼び出す

１．主卓の［ リード ］キーを押し、リードモードに入ります。
２．［TC］キーを押します。
３．［ 実行 ］キーを押します。
４．テンキーで［3］を指定します。
５．［ リターン ］キーを押すとキュー No.3 が実行され、次のキューの実行待ちの
状態で止まります。

プリセットフェーダを使用可能にする

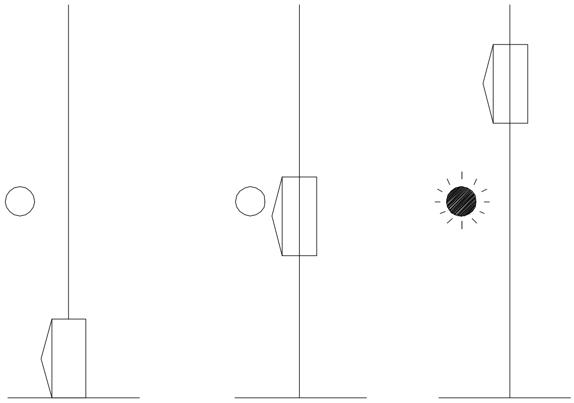
６．主卓の［ ライブ ］キーを押し、ライブモードに入ります。
７．［CH］キーを押します。
８．［P］キーを押します。メッセージラインに "CH= プリセット " と表示され、
プリセット卓を使用できる状態になります。

４－３－２．修正一致

プリセット卓で明かりの修正を行う場合、現在出力されているチャンネルのレベルと、プリセットフェーダのレベルを合わせる必要があります。この操作を「修正一致」と呼びます。
※プリセットフェーダ修正一致 LED は、記憶レベルとプリセットフェーダレベルが一致している
チャンネルのみ点灯します。消灯しているチャンネルは、記憶レベルに合わせた時、点灯し、
以降プリセットフェーダでレベルが変更可能となります。

【操作手順】

80% のレベルで出力されているチャンネル No．10 の フェーダレベルの一致をとる	１．修正一致 LED が消灯している No.10 のフェーダを徐々に上げていきます。 この間チャンネル No.10 の明かりのレベルは変化しません。」 ２．フェーダのレベルが現在出力中の 80% に達すると、修正一致 LED が点灯します。 ３．この後フェーダ操作を行うと、チャンネル No.10 の明かりのレベルが変化します。 ※修正後のレベル表示は、－修正されたものは黄色で、＋修正されたものは紫色で表示されます。



４－３－３．キューデータの書き込み

修正が終わったら、キュー No. をつけて書き込むことができます。
4-1-2.「キューデータの書き込み」（ 11 ページ ）を参照して、書き込み操作を行ってください。

４－２．キューデータの修正 - 記憶済のキューを修正する

プリセットモードでは、３００ チャンネルのダイレクトレベルセット及び画面に呼び出されたキューレベルの修正ができます。

【操作手順】

１．[ブラインド] キーを押してください。 キューデータ作成画面になります。

４－４－１．キューの呼び出し

【操作手順】

キュー No．３を呼び出す	１．主操作卓の [CUE] キーを押します。 ２．テンキーで [3] を指定します。 ３．[リターン] キーを押すと確定し、キュー No.3 が呼び出されます。 プリセットフェーダを使用可能にする ４．[CH] キーを押します。 ５．[P] キーを押します。メッセージラインに "CH= プリセット " と表示され、 プリセット卓を使用できる状態になります。

４－４－２．修正一致

修正一致の操作については、 4-3-2.「修正一致」（14 ページ ）を参照してください。

４－４－３．キューデータの書き込み

修正が終了したら、キュー No. をつけて書き込むことができます。
4-1-2.「キューデータの書き込み」（ 11 ページ ）を参照して、書き込み操作を行ってください。

４－５. SM(サブマスター) に割り付けられたキューデータの実行修正

主操作卓の SM(サブマスター) に割り付けられたキューデータを実行し、
プリセット卓で修正することができます。

４－５－１. SM に割り付けられたキューを実行する

SM にキューを割り付けて実行し、プリセット卓を使用してレベルを修正します。

【操作手順】

ＳＭ1にキューＮｏ．3 に割り付ける	１．主操作卓の [リード] キーを押し、リードモードに入ります。 ２．[SM] キーを押します。 ３．テンキーで [1] と指定します。 ４．[CUE] キーを押します。 ５．テンキーで [3] と指定します。 ６．[リターン] キーで確定します。
キューＮｏ．３を実行する。	７．SM1 のフェーダを上げてください。 SM1 に割り付けられたキュー No.3 の明かりが出力されます。
ＳＭ1 からの出力状態をライブモード画面に表示する	８．[ライブ] キーを押し、ライブモードに入ります。 ９．[SM] キーを押し、テンキーで [1] と指定します。 １０．[リターン] キーを押すと SM1 からの出力状態が画面に表示されます。
プリセットフェーダを使用可能にする	１１．[CH] キーを押します。 １２．[P] キーを押します。メッセージラインに " " と表示され、プリセット卓を使用できる状態になります。

４－５－２. 修正一致

修正一致の操作については、 4-3-2.「修正一致」（14 ページ ）を参照してください。

４－５－３. キューデータの書き込み

修正が終わったら、キュー No. をつけて書き込むことができます。
4-1-2.「キューデータの書き込み」(11 ページ) を参照して、書き込み操作を行ってください。

４－６. 多段プリセットモード

リードモードでは、S M(サブマスター) モードのサブマスターフェーダをプリセットフェーダのマスターフェーダに設定することができます。
【 注意 】ここでセットしたデータは、一度電源を OFF するとクリアされます。
フロッピーディスクにも書き込まれません。
※ SM フェーダには「その SM がプリセットフェーダのマスターに設定されている」
というデータのみが残ります。
再度電源を起ち上げたときに、同じようにセットしたい場合はもう一度同一操作を行うか、
同一データをキューデータとして記憶し、サブマスターに割り付けて使用してください。

４－６－１. SM をプリセッフェーダのマスターに設定する

【操作手順】

SMNo．10 をプリセットフェーダのマスターフェーダにセットする

１．主操作卓の［リード］キーを押し、リードモードに入ります。
２．[SM] キーを押します。
３．テンキーで [1][0] と指定します。
４．[P] キーを押し、［ リターン ］キーを押します。全チャンネルのプリセットフェーダ修正一致 LED が点灯します。
※このとき、 SM10 に既に何らかのデータが仕込まれている場合、メッセージラインに " チェンジ OK?" と表示されます。 OK の場合は再度リターンキーを押すと、データが書きかえられます。そうでない場合は［CAN］キーを押してください。
５．プリセットフェーダでレベルをセットしてください。

４－７．１ 段モードの操作の終了

1 段モードでのプリセット卓操作を終了し、主操作卓との接続を切り離す方法について説明します。

４－７－１. 主操作卓がライブモードの場合

ライブモードでは、任意のチャンネルを主操作卓側で指定することによって、プリセット卓との接続を切り離します。

【操作手順】

１．[CH] キーを押します。
２．テンキーで任意のチャンネル No.を指定し、[リターン] キーを押します。
３．指定したチャンネルがライブモード画面上に表示され、プリセット卓との接続が切り離されます。

４－７－２. 主操作卓がブラインドモードの場合

ブラインドモードでは、任意のキューを画面に呼び出すことによって、プリセット卓との接続を切り離します。

【操作手順】

１．[CUE] キーを押します。
２．テンキーで任意のキュー No. を指定し、［ リターン ］キーを押します。
３．指定したチャンネルがブラインドモード画面上に表示され、プリセット卓との接続が切り離されます。
※キュー No. を指定せず、［CUE］キーを押した後そのまま［ リターン ］キーを押しても、プリセット卓との接続を切り離すことができます。

第 5 章 3 段モード（ プリセットモード ）操作方法

3 段モードでは、プリセット卓はマニュアル操作の 3 段プリセットフェーダとして機能します。
※ ここで作成、出力された明かりは、主操作卓の記憶には書き込まれず、MARIONET STAR の電源を切ると消えます。（ 主操作卓のセットアップモードでの SD，FD へのセーブ操作でも書き込まれません。 ）プリセット卓で作成した明かりをデータとして保存したい場合は、ライブモードで個々の明かりをキューデータとして、キュー No. をつけて書き込んでください。

５－１. 実明かりを出力して明かりをつくる

各段のプリセットフェーダで、実明かりを出力しながら明かりをつくることができます。

【操作手順】

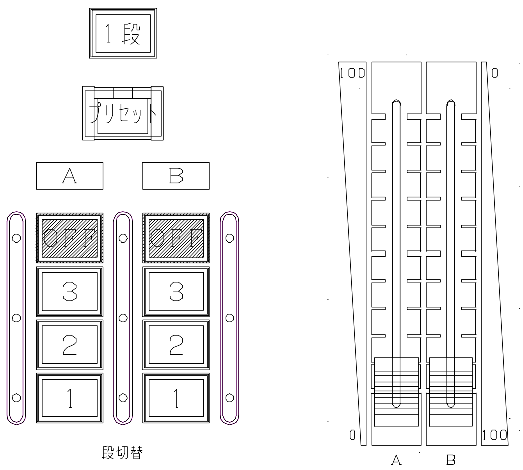
１. 段選択スイッチを押し、実明かりを出力したい段を選択してください。
※段選択スイッチが両方とも OFF の場合は、明かりは出力されません。

２. クロスフェーダを A、 B 同時に上下させると、実明かりを出力したい段を切り換えることができます。クロスフェーダ A を上に上げると A 側にセットされた段の明かりを、クロスフェーダ B を下に下げると B 側にセットされた段の明かりを出力します。

３. プリセットフェーダを操作し、レベルを作成します。

５－２. クロスフェーダを使用して明かりを転換する

3 段モードでは、プリセットフェーダで作成した明かりを、クロスフェーダで順番に転換させることが可能です。



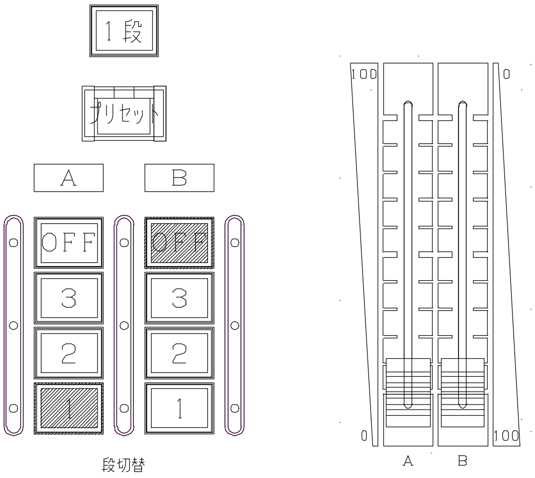
【操作手順】

１. 段選択スイッチが A、B とも OFF になっていることを確認してください。
このとき、 A 側のスイッチが緑、 B 側のスイッチが赤で点灯します。

２. 最初の場面の明かりを、一番下の 1 段目プリセットフェーダに仕込みます。
次の場面の明かりをその上の 2 段目プリセットフェーダに仕込みます。
さらに、三番目の場面の明かりを一番上の 3 段目プリセットフェーダに仕込みます。
これで、三つの場面の明かりがセットされたことになります。

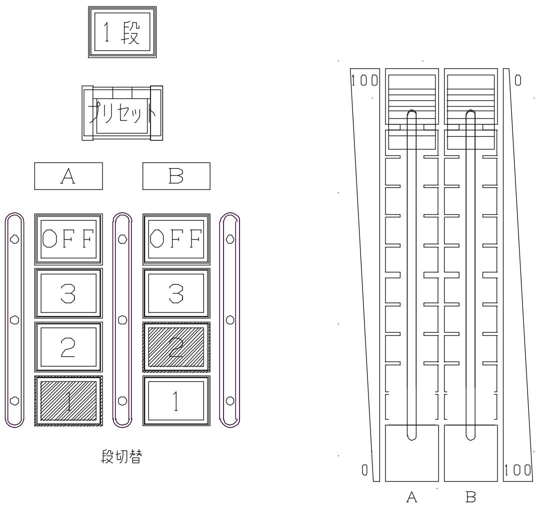
３. プリセットフェーダにセットされた明かりを、クロスフェーダで操作できるようにします。
クロスフェーダが両方とも一番下に下がっていることを確認してください。

４. クロスフェーダの左側の段選択スイッチの、 A 側の 1 を押します。スイッチが緑色に点灯し、最初の場面の明かりがクロスフェーダの A 側（左側の赤いツマミ ）にセットされます。



5．ゆっくりとクロスフェーダの両方のツマミを一緒に上げてください。クロスフェーダが上がり始めると段選択スイッチが赤に変わり、舞台上に 1 段目プリセットフェーダに仕込まれた明かりが出ます。

6．クロスフェーダの B 側（ 右側の白いツマミ ）に 2 段目プリセットフェーダに仕込まれた明かりをセットします。段選択スイッチの B 列の 2 のスイッチを押します。B 側は上側が 0% ですので、スイッチを押してセットしても明かりは出ません。



7．クロスフェーダを同じように二つ同時に下げると、舞台上の明かりが 1 段目プリセットフェーダに仕込まれた明かりから、 2 段目プリセットフェーダに仕込まれた明かりに、オーバーラップして替わります。

8．今度は 0% になっている A 側に、次の 3 段目プリセットフェーダに仕込まれた明かりをセットし、クロスフェーダを一番上に上げます。同じように、舞台上の明かりがオーバーラップして変化します。同時に、 1 段目プリセットフェーダに、四番目の場面の明かりを仕込みます。

５－３．３ 段モードの操作の終了

3 段モードの操作を終了し、主操作卓とプリセット卓との接続を切り離す方法について説明します。

【操作手順】　　１．[プリセット] スイッチを OFF にします。
スイッチが消灯し、主操作卓との接続が切り離されます。